



万世特攻慰霊碑慰霊祭 50周年を記念して寄贈された石碑  
(第73振武隊 故加寛幸男少尉ご遺族)

小屋敷 茂さん (72)

[万世特攻平和祈念館  
/ 万世特攻慰霊碑奉賛会事務局]

南さつま **縁人** VOL.35  
MINAMISATSUMA ENGINE

**万**世特攻平和祈念館は、陸軍最後の特攻基地として終戦間際の約4か月間使用された「万世飛行場」の跡地に建てられた祈念館です。小屋敷さんはガイドとして平成21年から通算8年勤めており、資料をもとに来館者に当時の様子や展示品の紹介をします。常に史実に基づいた丁寧な解説を心がけており、時には当時の人たちの証言をもとに、実際に現地に足を運んで資料を確かめることもあります。最近では、特攻隊員が出撃前の数日間を過ごした三角兵舎があったとみられる場所を特定しました。

毎年4月に開催される万世特攻慰霊碑慰霊祭の50周年記念誌の編集を2年以上かけて取り組んでおり、その中には、万世から出撃した隊員などが遺した手紙と遺書が掲載されています。多くは家族を想う気持ちが綴られており、掲載にあたって改めて手紙を読み返すと、亡くなった隊員たちの最期の想いや気持ちが切々と感じられ、涙なしでは筆耕できなかったそうです。「今では戦争を知る人も年々

少なくなっており、当時の資料は終戦後に軍の機密保持のため焼却されて、ほとんど残っていない。後世の人たちへ戦争の史実を知る資料を残し、戦争や平和について考えるきっかけとなれば」という思いで、歴史の語り部に小屋敷さんは尽力しています。記念誌は今年8月に発刊予定です。

万世特攻平和祈念館は今年4月にリニューアルされ、館内のガイドも、訪れた人たちがより理解しやすいような取り組みを計画しています。新しくなった万世特攻平和祈念館に足を運び、ぜひ平和について考えてみませんか。



毎年4月に行われる万世特攻慰霊碑慰霊祭

南さつま市に住む人、働く人、生き生きと活動している人を、南さつま市の輝く原動力（エンジン）としてご紹介します。